

2022年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
建築・インテリア設計実習 2											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	縄田 美佐子 他			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
2 × 4 住宅メーカーにおいて設計・監理、設計事務所において住宅・店舗・保育園の設計・監理、その後は公共建築専門の設計事務所において公営住宅、警察施設などの設計・監理をし幅広い業務経験を持つ。											
授業概要											
この授業では、実習を通して「考える」・「まとめる」・「やり遂げる」という学習を採り入れる。基本的にシラバスに則って授業を行うが、進捗状況、理解度に応じて、スケジュールを変更することがある。また、欠席した者、授業内でできなかった学生は、必ずその日に行った授業内容を確認および自宅学習し、次の授業までに準備してくること。											
到達目標											
この科目では、学生が以下のことが出来ることが目標である。クライアントに対して学生自身が企画提案した内容をまとめ上げ、クライアントに対して「形」として表現する力を養うことが目標である。クライアントに分かりやすく伝える為に内装材量や色の組み合わせを知ったうえで、 (1) イメージシート (2) カラースキーム (3) エレメントボードを作成し、プレゼンテーションの仕方を身に付けること目的である。さらには学生全員の前で発表し、また、他の学生の作品を見て評価することが出来るようになることが目標である。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
試験・課題レポート 成果発表(口頭・実技)	50% 15% 15%	成果物を総合的に評価する 調べ上げる力・考える力を身に付けさせるために実施する (レポートを含む) プレゼンテーション能力を評価する									
平常点	20%	授業態度によって評価する									
履修上の注意											
・全ての課題提出かつ3/4以上の出席を持って合格とする。理由のない遅刻や欠席は認めない。 ・遅刻、早退、途中退室等の場合は、必ず教員に報告すること。 ・授業中の私語や受講態度、および教室での飲食、器物損壊などには厳しく対処する。 ・課題の進捗状況に応じて、板書等で説明したり、資料を配布する。											
教科書教材											
第 3 版コンパクト建築設計資料集成 (丸善) ／配布資料											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス 課題説明 マンションのリノベーション カラーと素材、配色・色の組み合わせ オリジナルアイテムのエス										
第2回	課題1：マンションのリノベーション インテリアエレメント説明、住宅設備機器の説明、仕上げ、オリジナルアイテムを2										
第3回	課題1 マテリアルボード作成説明、ショールームの紹介・説明										
第4回	ショールーム見学 内装仕上げ材の見学・サンプル請求										
第5回	課題1 マテリアルボード作成										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
建築・インテリア設計実習 2	
第6回	課題1 マテリアルボード作成
第7回	外部施設の見学 建材、内装材および照明その他の見学
第8回	講評会 マテリアルボード講評会
第9回	課題2：課題説明 店舗設計 店舗の内装設計 課題説明 コンセプト、エスキス①
第10回	課題2 エスキス②、イメージ図
第11回	課題2 図面作成①（平面、断面）
第12回	課題2 図面作成②（展開図、パース）
第13回	課題2 プレゼンシート作成①（イメージボード、カラスキーム、マテリアルボード）
第14回	課題2 プレゼンシート ブラッシュUP
第15回	講評会 プレゼンシート講評会